

## 愛媛県がん診療連携協議会 令和5年度第1回がん登録専門部会 議事録

日 時：令和5年6月20日（火） 14:00～16:00

開 催 方 法：Web会議（使用会議システム Webex）

進 行：寺本典弘（四国がんセンター）

議事録：福田里恵（済生会西条病院）

### 《議題》

#### 1. はじめに

【四国がんセンター：寺本】

- 今後は、議事資料にあらかじめ目を通してから参集いただく形で専門部会を開催する。
- 推進病院も2021年症例QI研究への参加をお願いしたい。
- 次年度から愛媛県の集計でも、推進病院の予後付きデータを収集する。  
◇ 収集データ：全国がん登録から20条申請で提供される『2016年症例5年予後付きデータ』
- オフラインミーティング（部会の集合開催）について愛媛県がん診療協議会全体会議で話し合わせ、冬頃（2月ぐらい）から再開の予定となった。
- 皆さんにご協力いただいた、というか愛媛県がん診療連携協議会がん登録専門部会の事業であるコロナ速報を論文化したものが、*Japanese Journal of Clinical Oncology*に掲載される。

#### 2. 各施設挨拶・紹介

#### 3. 都道府県がん診療連携拠点病院 連絡協議会がん登録部会の報告

【四国がんセンター：白岡】

- 院内がん登録全国収集データ二次利用について  
→施設名の提供、集計の提供、個票提供の3種類
- 小児がん拠点病院の認定要件について  
→愛媛県では大きな問題となる要件はない。
- 院内がん登録全国集計における都道府県推薦について  
→県庁間合わせがなくなり、拠点病院以外に所属している認定者個人に案内が送付される。  
→拠点外病院の担当者に案内メールが確認されたら、事務局もしくはがん登録MLへ共有いただきたい。（HITO病院より情報提供あり、7/3がん登録ML宛に共有済）
- 患者体験調査の予定について  
→今年度実施予定。
- 認定資格更新におけるポイント制の導入について  
→今年度の議題にはなかった。
- 全国がん登録室からの連絡事項  
◇ 昨年と同様に院内がん登録全国集計と提出期間は同じ、GTSを使用予定。  
提出期間：（拠点病院）令和5年7月3日～8月4日  
（推薦病院）令和5年8月14日～9月15日  
◇ 拠点・推進病院は、GTSにて院内がん登録の提出を行い、付随して全国がん登録もGTSを使用して同時に提出している。GTOLは、遡り調査に使用している。トラブル発生時はメールでの問い合わせを要検討。  
◇ 愛媛県がん登録室からのお願い  
→エラー・警告は、訂正し翌年データ提出。登録精度向上のため来年度以降の登録ポイントとする。遡り調査にて直近年の登録漏れが多い施設は、ケースファインディング

の見直しを要検討。

◇ Fルールについて

→使用件数が施設によってばらつきがあった。組織コード 8211 に Fルール適応が多くほとんどの施設で使用があった。Fルールの使用がない施設は、逆に Fルールを使用すべき登録を間違ったコードで登録していると分析される。要確認。

◇ 愛媛県罹患数全国がん登録データについて

4. 活動検討委員会について

【四国がんセンター：百濟】

- 拠点病院・推進病院に関わらず、一緒に活動を盛り上げてくれるメンバーを募集中。
- はじめての試験対策：6月に Moodle の使い方、8月に資料への工夫や予約に関する情報共有を予定。お手伝いくださる方を随時募集している。
- E-Breeze：がん登録実務者の横のつながりをつくる！を目的に活動中。今年度 5 回開催予定。次回は、6月 27 日（火）11：50～。ぜひ参加いただきたい。（開催済）
- がん登録実務者の育成方法：実務者を育成する機会がある人同士で、実務者を育成するために必要な事を意見交換している。今年度 2 回開催予定。第 2 回では、エラーや警告が出ない目視でしかチェックできない項目の提出前チェックリストの作成を予定。第 2 回の参加は、あらためて募集する。ぜひ参加いただきたい。
- 過去の議事録や昨年度の活動状況は、Moodle を参照。
- 活動に関するアイデアも募集中。

5. 愛媛県のがん登録データの活用がん登録集計『がん登録でみる愛媛県のがん診療』2023 年症例作成  
その他について

【四国がんセンター：大平】

- データ利活用グループミーティング（令和 5 年 6 月 16 日）開催。議事録 Moodle へ掲載予定
- 2022 年症例冊子『がん登録でみる愛媛県のがん診療 2024』について

◇ 愛媛県全体集計について

→昨年度と同様に Web サイトに Pdf を公開。  
→今年度は国がん 5 年予後付きデータ収集事業がないため、予後付きデータ収集なし、生存率の集計も行わない。  
→集計ファイルは、Excel ファイルでマスキングなしに配布。  
→今後のデータの可視化の方法や運用体制について今年度検討予定。タブロー (Tableau) というツールを試験的に利用し、婦人科がんをプロトタイプとして進める

◇ 施設別集計について

→昨年度と同様に冊子を作成。  
→集計方法は昨年度同様。2020～2022 年症例を収集。2019 年までは昨年収集したデータまでで固定。  
→新たに加わったオプトアウト 6 項目についても 2022 年症例から収集する。（標準登録様式に合わせて 2023 年症例までは空欄許容）  
→拠点病院説明ポイントの書き方については、個別施設間のデータ比較はせず、自施設と愛媛県や二次医療圏など、大きな範囲との比較で解説を行う。

◇ 0 年データ提出時アンケートの実施について

→昨年度と同様に実施する。

- コロナ速報版『がん登録でみる愛媛県のがん診療』の公表について

→速報としての公開は行わない。

- 説明ポイント検討会の開催

→11月～12月に開催予定。2015年に行った説明ポイントの書き方講座のリバイバル。詳細は後日案内。

6. がんサポートサイトえひめについて

【四国がんセンター：寺本】

- がんサポートサイトえひめの歴史と現状
- ワーキンググループミーティング開催予定。7月に案内予定。

7. 愛媛県がん情報データベース計画

【四国がんセンター：寺本】

- 計画の経緯とまとめ
- ホームページ公開中。申請方法掲載あり。

8. 院内がん登録委員会・規定の整備について

【四国がんセンター：百濟】

- 院内がん登録委員会規定の整備について

・2020年時に情報収集を行った際の回答と今年度提出分の施設プロフィールシートを比較して確認を要する施設へ状況の確認を行った。

→プロフィールシートの変更有：愛媛県立中央病院、住友別子病院、十全総合病院、HITO病院  
→赤字で修正し事務局に6月中に再提出。(再提出済)

- 院内がん登録委員会の開催について

→済生会今治病院：現在計画はないが、今後開催予定。

→市立宇和島病院：診療録管理委員会の下部組織として、毎月件数の報告を行っている。院内がん登録実施規定を改定予定。

→住友別子病院：2023/06/14に初回の委員会を開催した。

→四国中央病院：今のところ整備できていない。他院の取り組みを参考に、まず規定を作り、診療録委員会の中で報告する形で院内がん登録委員会の開催を検討したい。

→松山市民病院：診療録管理委員会の際に、件数報告を行っている。

→済生会松山病院：委員会について詳細に定めたものではないが、簡単な規定はある。化学療法委員会（がんに関する委員会）で合同開催のときに報告している

→市立八幡浜総合病院：今年度、1回開催予定

→委員会の定義は。

(市立宇和島病院：新城)

→委員会の開催は年1回必須。

(四国がんセンター：寺本)

→登録の問題点等を検討することとなっていたはず。検討を実施し、議事録を残せばよいのではないか。

(四国がんセンター：白岡)

→院内がん登録の体制について、院長若しくはそれに準ずる立場の人に報告され、記録に残していることが大事。件数報告だけでは、委員会開催とはできない。問題ないと報告を行う場合でも、例えば「人員について問題なし」「設備について問題なし」などの報告が必要。

他の委員会との合同開催は問題ない。

(四国がんセンター：寺本)

→規定・委員会がきちんと制定、実施されていないと、院内がん登録を実施していると主張する上で困難が生じる。また、20条提供で全国がん登録から予後情報提供するために規定の整備が必要なため改めて状況を確認する。

(四国がんセンター：寺本)

→四国がんセンターの規定等も参考にされたい場合はお知らせいただきたい。

(四国がんセンター：百濟)

→議事録に残すためにも委員会メンバーは確定する必要がある。(四国がんセンター：寺本)  
→2016年に制定された「がん登録等の推進に関する法律」で定められている。行わないと拠点病院・推進病院とも設置要件となっている院内がん登録を実施していると認められない。  
今年度中に実施必要。個別にサポートもする。(四国がんセンター：寺本)

## 9. オプトアウトについて

【四国がんセンター：大平】

### ● 運用体制の整備についての情報共有

<担当窓口部署決定済み>

- ◇ 愛媛県立中央病院：がん登録実務者から事務相談し事務が対応。個人情報問い合わせ先が患者総合相談窓口を設定されており、相談窓口とした。担当部署に相談の上、院長まで決済処理を実施。相談があった場合は、相談窓口から実務者に連絡が入る。現在、他の研究も含めて相談なし。
- ◇ 四国がんセンター：寺本先生が相談支援部門長に直接交渉し窓口設置。大きな問題なし。申し出があった場合は、患者番号、氏名、生年月日を窓口対応者が確認し連絡用紙に記入。用紙をがん登録部門に提出する。記入用紙は、相談支援部門が作成した。オプトアウトとして利用と連絡の2項目ある。窓口担当者に2項目の確認が必要なが伝わっていないことが課題。現在、申し出はない。
- ◇ 愛媛大学医学部附属病院：元々がん登録についての患者向け掲示ががん登録部門であったため、がん登録部門が窓口となった。院長決裁まで終了しポスター掲示も終了した。質問を受けた時のマニュアルを作成中。受付状況などを記入する用紙も作成中。
- ◇ 済生会西条病院：がん患者相談窓口が社会福祉課MSWとなっていたため、上司に相談し交渉。部署間で決定した後に院内決裁実施。患者さんと接する機会の多い総合窓口等にも周知し、連絡が相談窓口につながるようにした。
- ◇ 市立八幡浜総合病院：患者相談窓口を設置済みのため、がん登録についても同じ窓口とした。実績はなし。がん登録部門に連絡がスムーズにできる体制を作っている。

<調整中>

- ◇ 市立宇和島病院：がん登録部署内で相談し、がん相談支援センターにお願いする予定。
  - ・がん登録をされているかどうかの問い合わせなどが生じる可能性についてはどのように運用予定か。

→オプトアウトは、基本的にわかった人が拒否をするもの。わからない人をオプトアウトする必要はないのではないか。がん登録の質問に関しては別途対応が必要。登録されているか不明な方が相談に来た場合は、対象であればオプトアウト必要。

オプトアウトは、院内がん登録されたくないという意思表示ではなく、院内がん登録全国集計の二次利用に対する拒否である。院内がん登録は拒否できない。

(四国がんセンター：寺本)

- ◇ 住友別子病院：がんセンター上司に相談し、相談支援センター対応がいいのではないかとこの話で止まっている。
- ◇ 松山赤十字病院：進んでいない状況。がん診療支援室とのミーティング時に相談し委員会を通して決定したいと考えている。相談支援には、看護師が多く勤務しておりがん登録への理解不足もあり、がん患者以外の患者もいるため統制がつかない。他院の状況からがん相談に担当窓口をお願いしたいと考えている。

・四国がんセンターの連絡票の項目等も教えていただきたい。

→相談支援部門が作成したもののため、確認し可能であれば情報提供する。

(四国がんセンター：百濟)

◇ 済生会今治病院：個人情報窓口が医事課のため、ファーストタッチを医事課に依頼検討中。医事課職員全員ががん登録を理解しているわけではないため、がん登録担当者が対応をする必要があると考えている。

→患者、かかわる職員ともにがん登録を理解する必要はない。オプトアウトがシステムとして稼働すればよい。

(四国がんセンター：寺本)

◇ HITO 病院：医事診療情報課に病歴室が属しており、代表電話対応部署の医事課にファーストタッチを依頼検討していたが、今日の情報から他部署にもヒアリングし対応部署を検討する。

◇ 四国中央病院：オプトアウトについてはまだ対応が進んでいない。

→国がんの研究に関するオプトアウトのため、がん登録データを提出している施設は対応必須である。

(四国がんセンター：大平)

→個別に対応を検討する。

(四国がんセンター：寺本)

◇ 十全総合病院：上司に相談しているが、課内での共通認識を図るのが難しい状況。他施設の状況を確認し検討予定。

◇ 松山市民病院：相談窓口相談する予定。

◇ 済生会松山病院：進んでいない。窓口か相談窓口が初期対応担当になると考えられる。

● **がん登録オプトアウトとは** 【四国がんセンター：寺本】

このオプトアウトは、院内がん登録全国集計の二次利用に対するオプトアウトである。

各施設における院内がん登録のオプトアウトではない。2024年症例から必須となるので、窓口設置対応を進めていただきたい。

標準登録様式に新しく追加された6項目では、以下について収集する。

- ・『二次利用への意思表示』(自分のがん情報は全国集計以外の調査研究へ二次利用しないで！)
- ・『調査研究の連絡に関する意思表示』(患者体験調査やアンケート等の連絡はしてこないで！)

現在国がんから提供されているポスターでは、『利用』と『連絡』は別の意思表示が必要であることがわかりにくいため、国がんからの更なる情報提供を依頼している。

標準登録様式への登録6項目(研究利用に対する3項目と調査研究に関する3項目)について、分けることが出来ない場合はすべて両者をオプトアウトしてよいと聞いている。困った事例が生じた場合は、すべて国がん相談すること。

→オプトアウトについて不明な点があれば、がん登録専門部会事務局まで連絡いただきたい。

次回議事録担当 松山市民病院